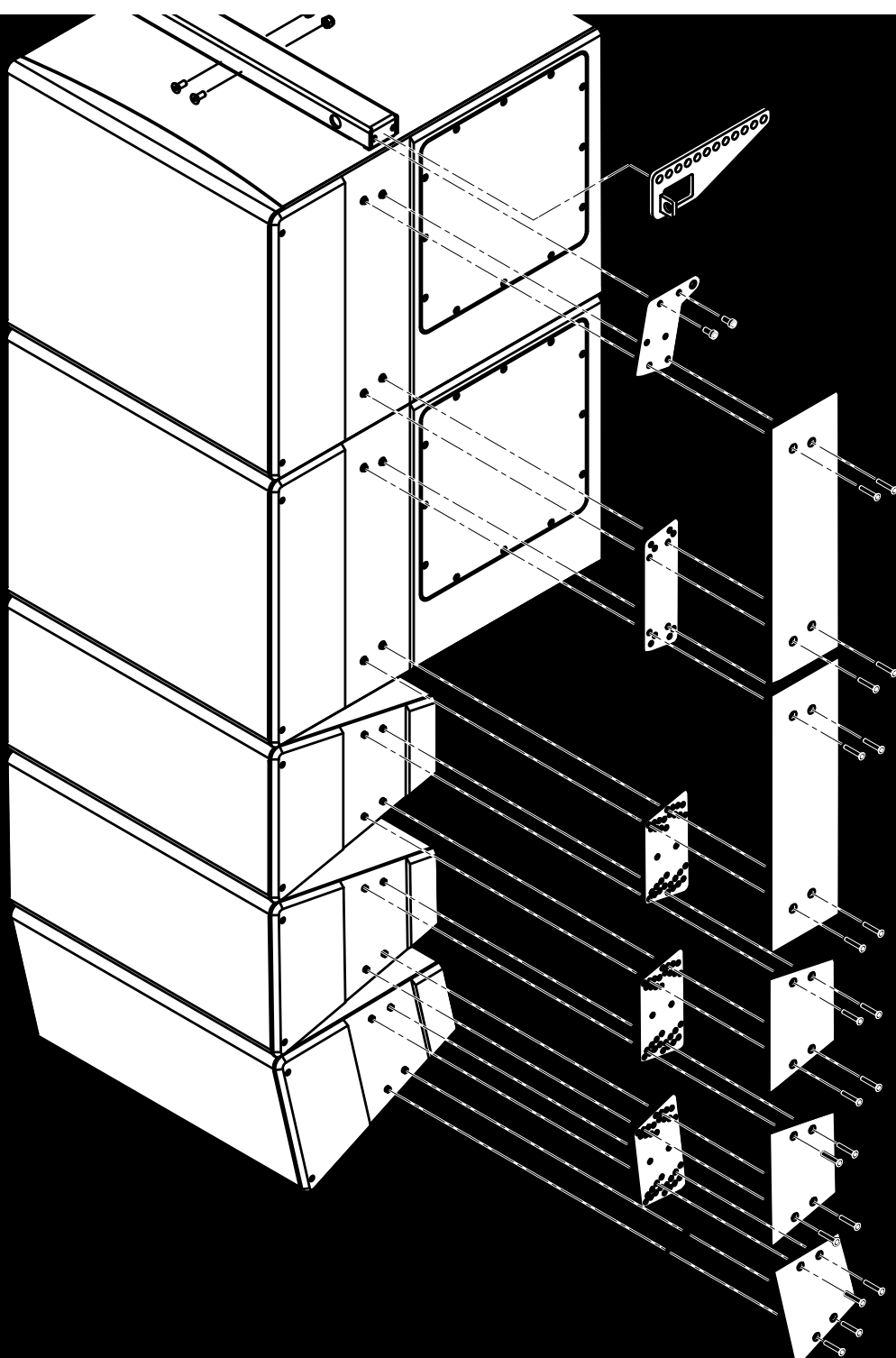


xA

xA-Series
リギングマニュアル 1.2 ja



概説

xA-Series リギングマニュアル

バージョン 1.2 ja, 11/2021, D2962.JP .01

Copyright © 2021 by d&b audiotechnik GmbH & Co. KG; all rights reserved.

本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b audiotechnik GmbH & Co. KG
Eugen-Adolff-Str. 134, D-71522 Backnang, Germany
T +49-7191-9669-0, F +49-7191-95 00 00
docadmin@dbaudio.com, www.dbaudio.com

目 次

1 システムの安全性	4
1.1 使用用途	4
1.2 許容荷重量	4
1.2.1 承認されているアレイ 構成	4
1.2.2 xA-Series ラウドスピーカーキャビネットの 重量	4
1.3 d&b ArrayCalc シミュレーションソフトウェア / TI 385	5
1.4 安全に関する注意	5
2 リギングコンセプト	6
2.1 ツールボックス	6
2.2 xA-Series リギングコンポーネント	7
2.2.1 xA-Series ラウドスピーカーキャビネット	7
2.2.2 Z5413 フライニングバーコネクタプレート xA	7
2.2.3 Z5414 フライニングバー xA	8
2.2.4 Z5415 フライニングバーアダプター xA	9
2.2.5 Z5419 ロードバー xA	9
2.2.6 Z5416 コネクタプレート 10A	10
2.2.7 Z5417 コネクタプレート 10AL	10
2.2.8 Z5418 コネクタプレート xA-SUB	10
2.2.9 Z5421 コネクタプレート xA、ネガティブスプ レイ	11
2.2.10 Z5420 ロードアイボルト	11
2.3 スプレイングルの設定	11
2.4 コネクタプレートのホールグリッド	13
3 吊り下げのオプション	15
3.1 垂直アレイ	15
3.1.1 Z5415 フライニングバーアダプター xA	15
3.1.2 追加の吊り下げオプション	16
4 xA-Series アレイと組み立て	17
4.1 xA-Series アレイ構成	17
4.2 組み立ての準備	18
4.2.1 必要工具	18
4.2.2 組み立てエリア	18
4.2.3 HF セクションの配向	18
4.3 垂直アレイ	18
4.3.1 地上での水平組み立て	18
4.4 グランドスタック	20
5 アレイを吊り上げる	21
5.1 安全ガイドライン	21
6 EC 適合宣言 EU 適合 (CE マーク)	22
6.1	22
6.2 廃棄	22

1 システムの安全性

1.1 使用用途

xA-Series のリギングコンポーネント（フライングバー、フライングバーアダプター、コネクタプレート）は、必ず本リギングマニュアルに記載されている内容に従って d&b xA-Series ラウドスピーカーとの組み合わせのみで使用してください。

機器の設置や設定は、必ず各国で制定されている事故を抑制する法律を熟知した方の監督下で、認定された方が行うようにしてください。

機器の吊り下げ作業を行う方は、吊り点が荷重を満たしているかどうかを必ず責任を持って確認してから行ってください。

機器をご使用する際は事前に、視覚的及び機能的な検査を行ってください。機器の外観や性能は常にチェックし、安全性や機能に異常が見られた場合には直ちに使用を中止してください。

1.2 許容荷重量

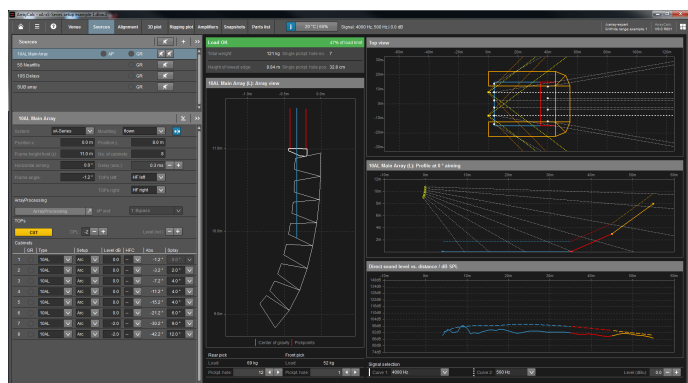
1.2.1 承認されているアレイ構成

xA-Series リギングシステムは、以下の屋内使用を対象とした承認済みアレイ構成が可能になるように設計されています。

フライングアレイ		グラウンドスタック	
アレイ構成	キャビネットの数とタイプ	設定	キャビネットの数とタイプ
10AL ラインアレイ	▪ 最大 9 台の 10AL (-D) キャビネット。	混合グラウンドスタック	▪ 最大 6 台の 10AL (-D) キャビネットを最大 3 台の 18A または 27A サブウーファー（グラウンドサポートとして）の上に。
10A 垂直アレイ	▪ 最大 6 台の 10A (-D) キャビネット。	SUB スタック	▪ 最大 4 台の 18A または 27A サブウーファー。
混合アレイ	▪ アレイ上部に最大 2 台の SUB キャビネットと最大 6 台の TOP キャビネットの組み合わせ。 ▪ アレイ上部に最大 3 台のキャビネット、中間に最大 2 台の SUB キャビネット、下部に最大 3 台の TOP キャビネット。		
SUB コラム	▪ 最大 4 台の 18A サブウーファー。 ▪ 最大 3 台の 27A サブウーファー。		

1.2.2 xA-Series ラウドスピーカーキャビネットの重量

キャビネット	重量 kg (lb)
10A (-D)/10AL (-D)	14 kg (31 lb)
18A-SUB	32 kg (71 lb)
27A-SUB	41 kg (90 lb)



d&b ArrayCalc

1.3 d&b ArrayCalc シミュレーションソフトウェア / TI 385

安全性と音響的な理由から、d&b ラインアレイの設計には必ず d&b ArrayCalc シミュレーションソフトウェアをご使用ください。このソフトウェアは、Microsoft Windows と Mac OS X に対応するスタンドアローン・アプリケーションとして、www.dbaudio.com よりダウンロード可能です。

ArrayCalc に関する詳細情報および使用方法は、ソフトウェアに含まれているヘルプシステムをご覧ください。ヘルプシステムへのアクセスには、F1 を押すか、ArrayCalc ツールバーのヘルプボタン () を押してください。これによって HelpViewer が開き、ここでプログラムの概要を確認したり、検索機能やダイレクトアクセスによって関連情報にアクセスすることができます。

さらに、ArrayCalc では許容負荷範囲内での標準的なアレイ構成に関する情報、および機械的な負荷条件や負荷制限に関する情報を提供しています。

ラインアレイ設計に関する詳細情報は、" TI 385 d&b Line array design, ArrayCalc "をご覧ください。TI はソフトウェアと一緒に提供されているか、www.dbaudio.com の d&b ウェブサイトでダウンロード可能です。

また当社では、本社にて定期的開催している d&b ラインアレイ・トレーニングセミナーに参加されることをお勧めしています。d&b セミナーに関する詳細情報およびセミナーのスケジュールに関しては、d&b ウェブサイト (www.dbaudio.com) でもご覧いただけます。



1.4 安全に関する注意

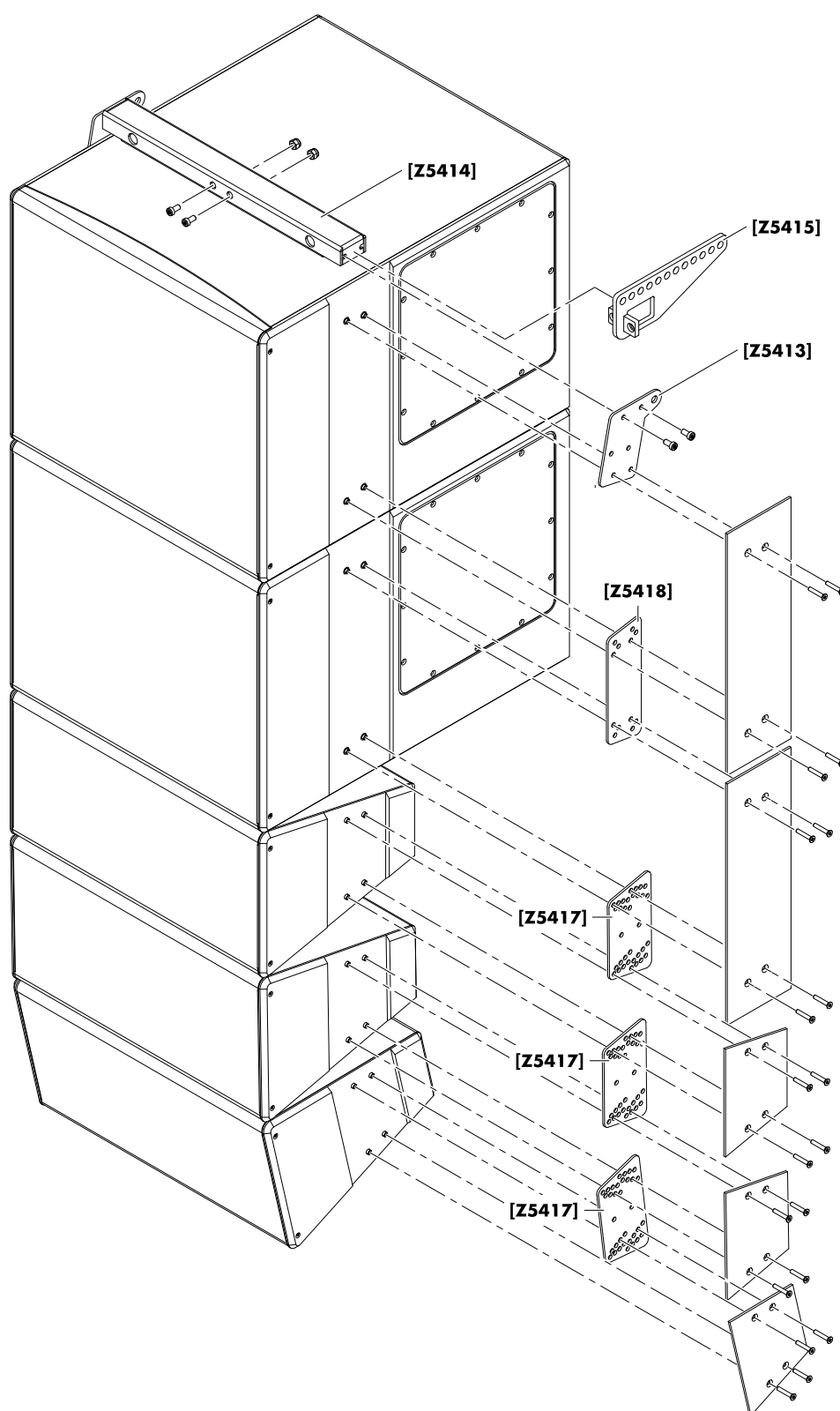
組み立てを行う際は、落下などによる危険に注意を払ってください。作業者はヘルメット等を着用し、作業に適する服装で保護してください。

リギングコンポーネントとラウドスピーカーキャビネットに記されている指示に従ってください。

チェーンモーターが動作している時は、アレイの真下あるいは付近に、セットアップに関わる作業員以外が近づかないように注意してください。

アレイにはいかなる場合も登らないでください。

2 リギングコンセプト



2.1 ツールボックス

- 六角ソケットレンチ (トルクレンチ) #13 mm.
- トルクスビット TX30 のドライバー。

- トルクスビット TX45 のトルクスソケットレンチ（トルクレンチ）。
- 六角アレンキー 5 mm。
- 固定接着剤（Loctide など®）。

2.2 xA-Series リギングコンポーネント

xA-Series スピーカーキャビネットと xA-Series リギングコンポーネントを組み合わせることで、フライングまたはグランドスタックで様々なアレイ構成をセットアップできます。

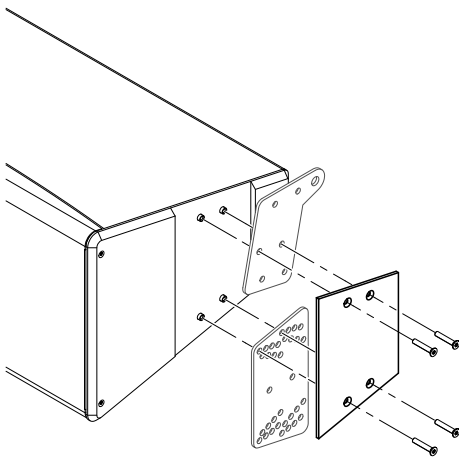
以下の概要は、各コンポーネントの使用目的の基本的な説明です。

2.2.1 xA-Series ラウドスピーカーキャビネット

このキャビネットのサイドパネルには、該当するコネクタプレート xA に対応する一体型リギングポイントが備えられています。

コネクタプレートを取り付ける際には、カバープレートを外すとリギングポイントに簡単に手が届きます。

コネクタプレートをキャビネットの両側に取り付けてから、カバープレートを再度取り付けて、キャビネット間のまたはフライングバーへの機械的接続をしっかりと強化します。



2.2.2 Z5413 フライングバーコネクタプレート xA

使用用途

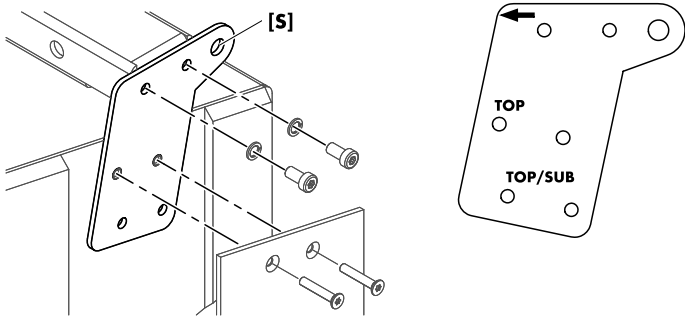
フライングバーコネクタプレート xA は、フライングバーをアレイ全体に接合するために用いられます。この目的のために、コネクタプレートには 2 対の穴が備えられています。

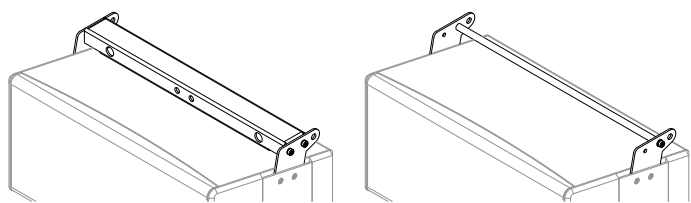
下部の対は、SUB キャビネットがアレイの上部に組み込まれている場合に、フライングバーを SUB キャビネットに接合するために用いられます。

フライングバーを 10A (-D) または 10AL (-D) キャビネットに接合する際には、下部または上部の対を使用できます。上部の対を使用すると、フライングバーをアレイ全体の 1 番目のキャビネットのできるだけ近くに接合できます。

コネクタプレートには、12.5 mm [0.5 "] [S] の追加吊り下げ穴が設けられており、フライングバーアダプターの代わりにシャックル（d&b E6507 など）を使用してアレイを吊り下げる（2 点吊り）ことができます。

コネクタプレートは必要に応じて、プルバックアンカー装置として機能する 2 番目のピックポイントをアレイの端に取り付けるために使用することもできます。





注意!

リギングコンポーネントの損傷の危険!

コネクタプレートの追加吊り下げ穴を用いてアレイを吊り下げたり、固定したりする場合は、2つのコネクタプレート間の支持装置として Z5414 フライングバー xA を使用する必要があります。

または、Z5419 ロードバー xA をここで使用することも可能です。左の図に示すように、ロードバーをコネクタプレートの後部固定穴に取り付けることをお勧めします。

さまざまな吊り下げオプションの詳細な説明は、⇒ 15 ページの 3 章 "吊り下げのオプション".... を参照ください。

2.2.3 Z5414 フライングバー xA

付属品

量	d&b 品番	内容
1	Z5414	d&b フライングバー xA [1]
付属:		
4		スプリングワッシャー [1.1]
4		鍋頭ボルト M8 x 18/12.9 [1.2] (トルクス #T45)

使用用途



注意!

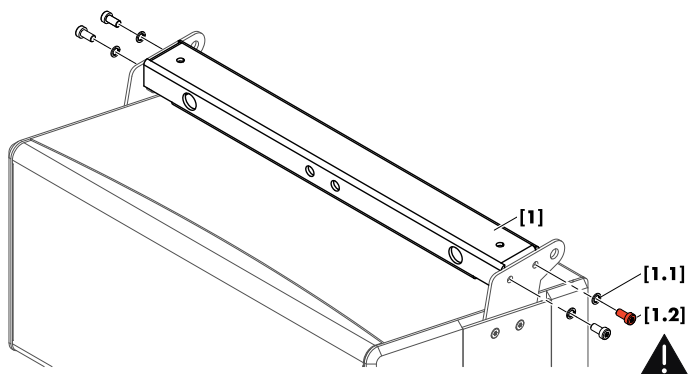
リギングコンポーネントの損傷の危険!

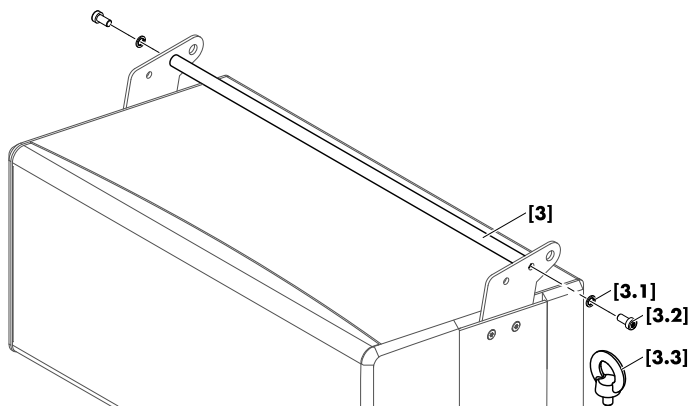
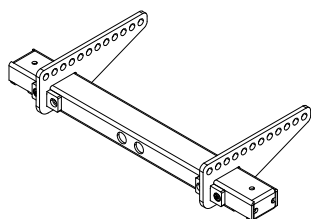
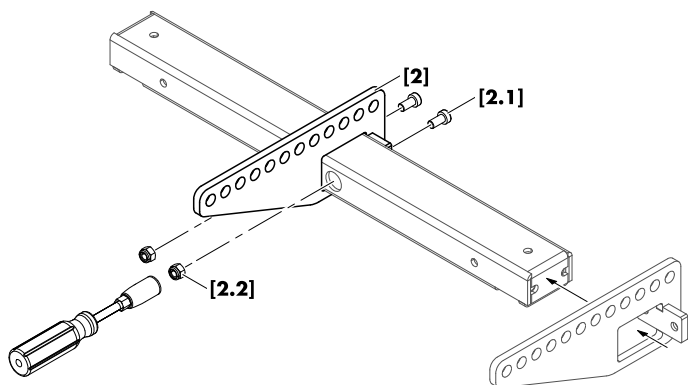
付属および指定の鍋頭ボルト[1.2] (品質等級 12.9) のみ使用してください。

Flying bar xA は、次のオプションで xA アレイを吊り下げるために使用されます。

- Z5415 フライングバーアダプター xA と組み合わせての 1 点または 2 点吊り使用時。この組み合わせでは、拡張ホールグリッドを設けるために、フライングバーアダプターを用いてフライングバーを 2 つの方向に取り付けることができます。
- Z5413 フライングバーコネクタプレート xA と組み合わせての 2 点吊り使用時。
- また、必要に応じて、プルバックアンカー 装置として機能する 2 番目のピックポイントをアレイの下部で隣接するキャビネットの間またはアレイの端に取り付けるために使用することも可能です。
- このフライングバーは、Q9031 M8 セーフティアイボルトを併用した水平アレイ構成の支持装置としても使用されます。

さまざまな吊り下げオプションの詳細な説明は、⇒ 15 ページの 3 章 "吊り下げのオプション".... を参照ください。





2.2.4 Z5415 フライングバーアダプター xA 付属品

量	d&b 品番	内容
1	Z5415	d&b フライングバーアダプター xA [2]
付属：		
2		鍋頭ボルト M8 x 16 (トルクス T45) [2.1]
2		固定ナット M8 [2.2]

使用用途

フライングバーアダプター xA は Z5414 フライングバー xA と組み合わせて用います。これで 1 点、または 2 点吊りが可能になります。

これをフライングバーに取り付けるには、バーにスライドさせ、鍋ネジ [2.1] と固定ナット [2.2] を用いて中央位置に固定します。

フライングバーの両端に 2 つのフライングバーアダプターを取り付けることもできます。これらのアダプターは、アダプターごとに鍋ネジ [2.1] と固定ナット [2.2] を 1 本ずつ用いて固定します。

さまざまな吊り下げオプションの詳細な説明は、⇒ 15 ページの 3 章 "吊り下げのオプション".... を参照ください。

2.2.5 Z5419 ロードバー xA 付属品

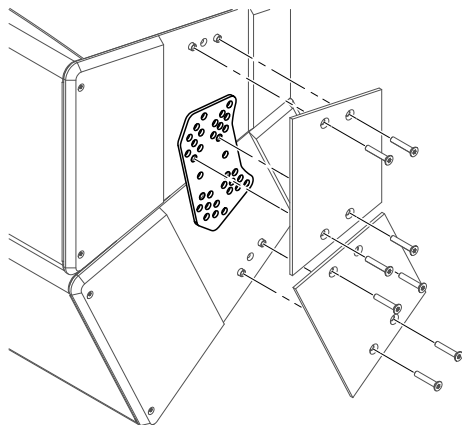
量	d&b 品番	内容
1	Z5419	d&b ロードバー xA [3]
付属：		
2		スプリングワッシャー [3.1]
2		鍋頭ボルト M8 x 18 (トルクス T45) [3.2]
2	Q9031	M8 セーフティアイボルト [3.3]

使用用途

Z5419 ロードバー xA は様々な方法で使用可能です。

- Z5414 フライングバー xA の代替りの支持装置として。
- Z5420 ロードアイボルト と組み合わせて垂直アレイを吊り下げるために。
- 付属の Q9031 M8 セーフティアイボルト を併用した水平アレイ構成の支持装置として。
- 必要に応じて、アレイの下部で隣接するキャビネットの間またはアレイの端で Z5420 ロードアイボルト とともにプルバックアンカー 装置として機能する 2 番目のピックポイントを取り付けるために。
- Q9031 M8 セーフティアイボルト と適切なスチールワイヤーロープを使用してアレイの水平エイミングを固定するための 2 番目のピックポイントを取り付けるために。

さまざまな吊り下げオプションの詳細な説明は、⇒ 15 ページの 3 章 "吊り下げのオプション".... を参照ください。

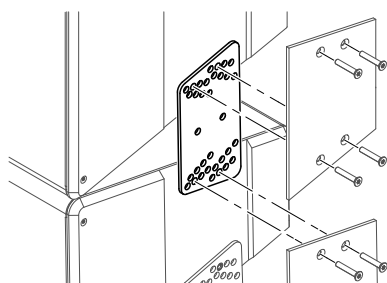


2.2.6 Z5416 コネクタプレート 10A

このコネクタプレートは、10A (-D) キャビネットを相互接続し、それらを異なるスプレイアングルでセットするために使用されます。

隣接するキャビネット間のスプレイアングルは 25° ～ 60°の間で 5°ずつ調整可能です。

メモ: 10A (-D) キャビネットで構成される水平アレイをセットアップするときは、Z5419 ロードバー xA または Z5415 フライバーアダプター xA を支持装置または吊り下げ装置として取り付けられるように、隣接するキャビネット間の最小スプレイアングルを 30°に設定します。



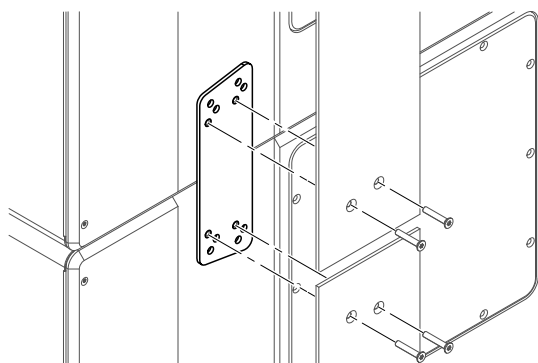
2.2.7 Z5417 コネクタプレート 10AL

使用用途

このコネクタプレートは、10AL (-D) キャビネットを相互接続し、それらを異なるスプレイアングルでセットするために使用されます。

隣接するキャビネット間のスプレイアングルは、0°、1°、2°、4°、6°、9°、12°または 15°に設定できます。

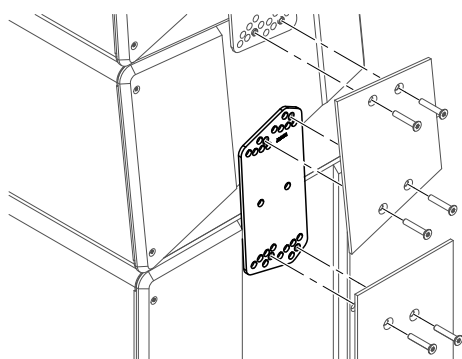
メモ: 10A (-D) キャビネットを SUB キャビネットの下に追加すると、混合垂直アレイでもコネクタプレートを使用できます。



2.2.8 Z5418 コネクタプレート xA-SUB

使用用途

このコネクタプレートは、xA-SUB キャビネットを相互接続するために使用され、そこでは隣接する SUB キャビネットの間のスプレイアングルを 0°、2.5°、または 5°に設定できます。



2.2.9 Z5421 コネクタプレート xA、ネガティブスプレイ

使用用途

このコネクタプレートは、グラウンドスタックのセットアップで、1 番目の TOP キャビネットを下向き傾斜（ネガティブスプレイ）にするために使用されます。

また、このコネクタプレートは、混合垂直アレイで、SUB キャビネット下の 1 番目の TOP キャビネットを上向きに、または SUB キャビネット上の 1 番目の TOP キャビネットに下向きにするために使用することもできます。

アングルは 0°、1°、2°、4°、6°または 9°に設定できます。

2.2.10 Z5420 ロードアイボルト

使用用途

Z5420 ロードアイボルト は回転が可能のように取り付けられ、Z5413 フライングバーコネクタプレート xA および Z5419 ロードバー xA と組み合わせてアレイを吊るすために使用されます。

また、必要に応じて、アレイの下部で隣接するキャビネットの間またはアレイの端で Z5419 ロードバー xA とともにプルバックアンカー 装置として 機能する 2 番目のピックポイントを取り付けるために使用することも可能です。

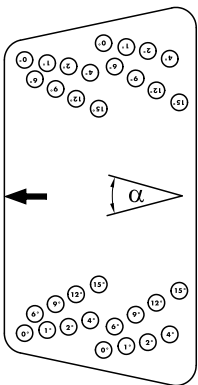
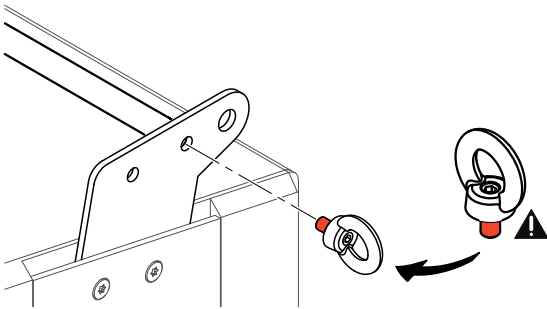
取り付け



注意!
固定ネジが緩むリスクが潜在します。

アイボルトの一体型固定ネジは回転が可能のように取り付けられるため、緩みを防ぐためにスプリングまたはロックワッシャーを用いて固定することはできません。ネジの緩みを防ぐためには、「Loctide®」などの適切な固定接着剤を使用する必要があります。

アイボルトを取り付けるときは、5 mm 六角アレンキーを用いて手作業でネジを締めます。トルクがかかりすぎて固定ネジに過度のトルクがかかる可能性があるため、拡張ツールは一切使用しないでください。



2.3 スプレイアングルの設定

隣接するキャビネット（TOP または SUB キャビネット）間のスプレイアングルを設定する手順は、xA-Series のすべてのコネクタプレートで同じです。この目的のために、コネクタプレートには両端にホールグリッドが備えられています。

希望のスプレイアングルに設定するには、上部および下部キャビネットのコネクタプレートにあるそれぞれの穴の対を用います。

コネクタプレートのホールグリッドと可能なアングル設定をそれぞれ表示した図は、次の項で確認できます。

(⇒ 13 ページの 2.4 章 "コネクタプレートのホールグリッド".... を参照ください。

以下の図は、各コネクタプレートのセッティング 例です。ここでは使用する穴と設定されたスプレイアングルが記されています。

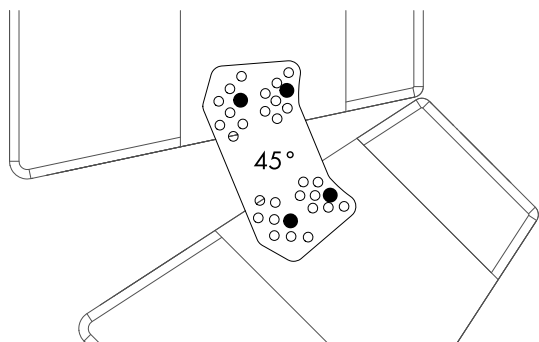


図 1: Z5416 コネクタープレート 10A、アングル設定

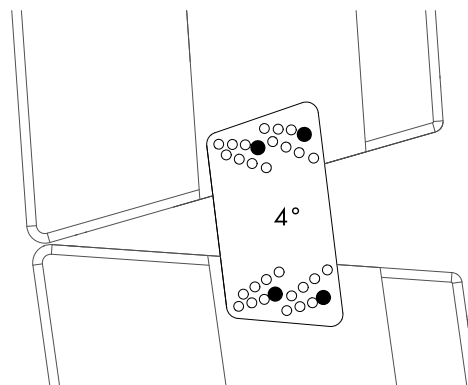


図 2: Z5417 コネクタープレート 10AL、アングル設定

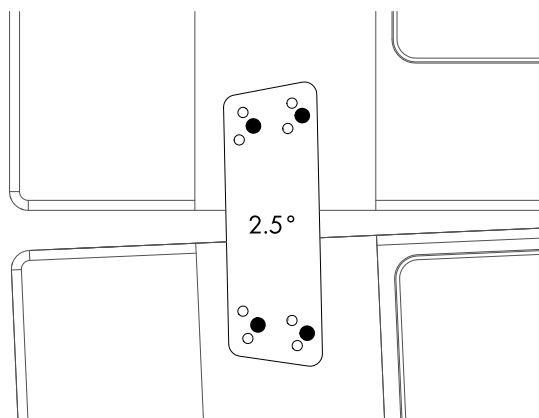


図 3: Z5418 コネクタープレート xA-SUB、アングル設定

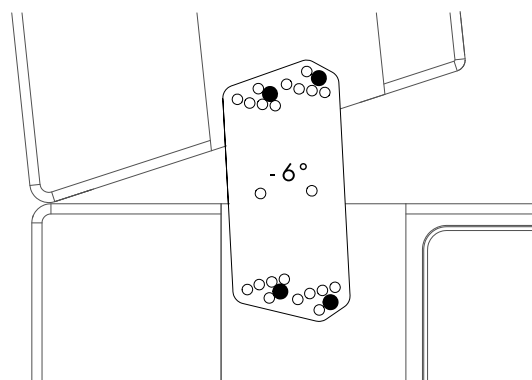


図 4: Z5421 コネクタープレート xA、ネガティブスプレイ、アングル設定

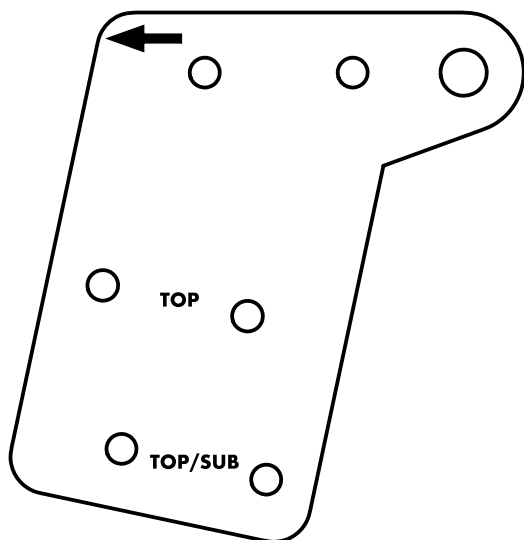


図 5: Z5413 フライングバーコネクタプレート xA

2.4 コネクタプレートのホールグリッド

以下では、xA コネクタプレートのホールグリッドと、各アングル設定が記されています。

メモ:

- 図は原寸大ではありません。
- 矢印は、各キャビネットの前面に向かったのコネクタプレートの取り付け方向を示しています。

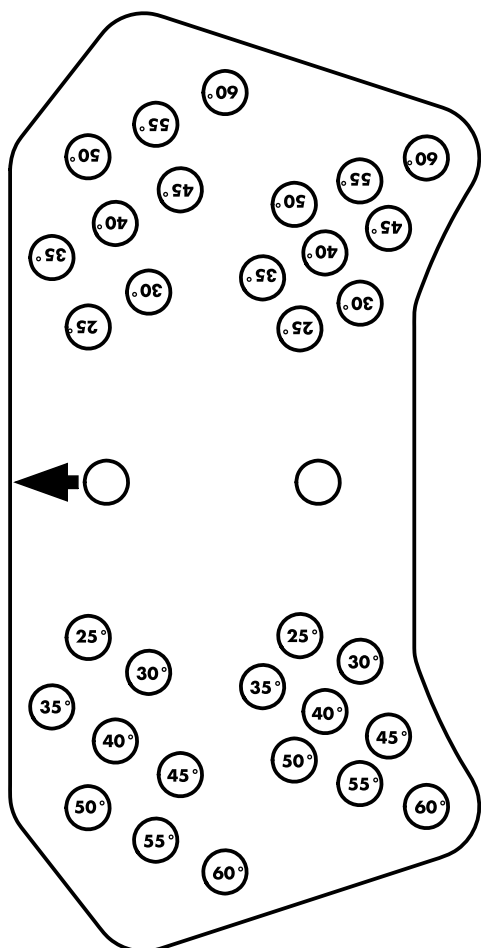


図 6: Z5416 コネクタプレート 10A

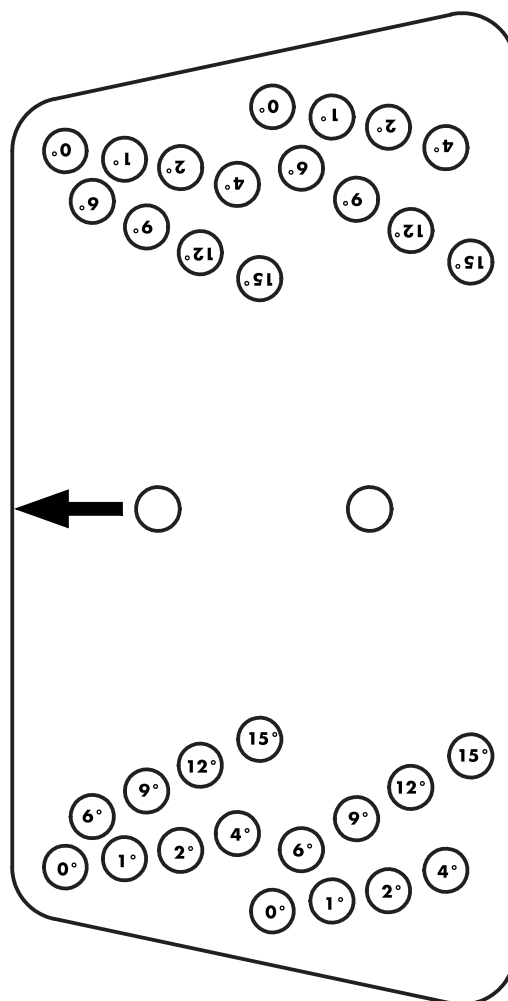


図 7: Z5417 コネクタプレート 10AL

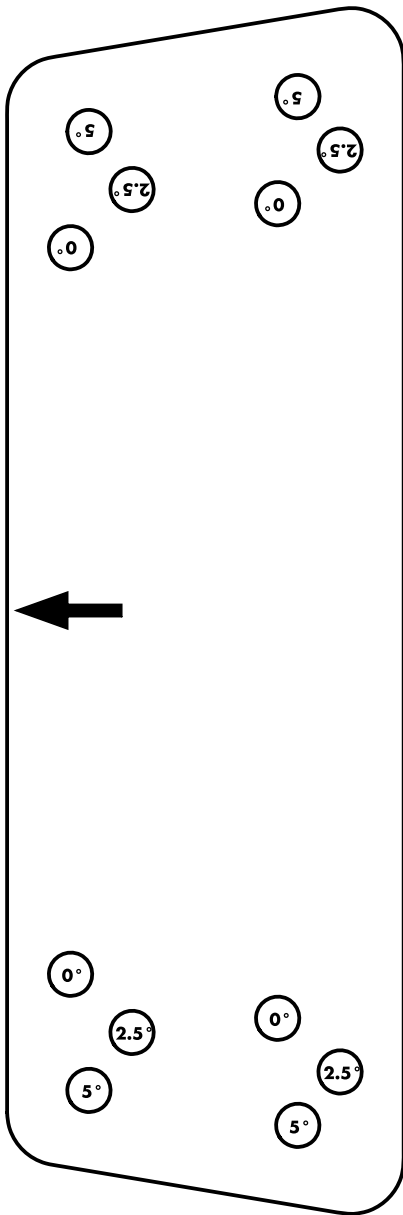


図 8: Z5418 コネクタプレート xA-SUB

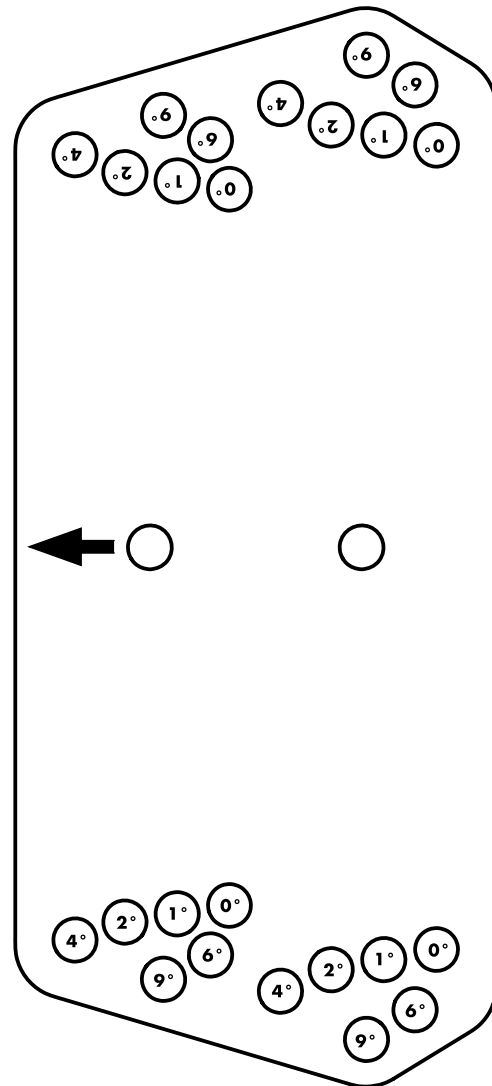


図 9: Z5421 コネクタプレート xA、ネガティブスプレイ

3 吊り下げのオプション

xA-Series リギングシステムでは、現場の様々な要件に対応しながら xA-Series アレイを吊り下げるために、複数のオプションを利用できます。



警告!

アレイは、適切なスチールワイヤまたはホイストチェーンを使用して、または d&b Z5147 ロータクランプ を使用して吊り下げる必要があります（1 点吊り使用時）。他のタイプのアレイの吊り下げは認められていません。

スチールワイヤまたはチェーンホイストならびにそれらの吊り点の使用荷重は、システムの 総重量を支えるのに十分である必要があります。

各吊り点は、システムの 総重量を支えることができなくてはなりません。

3.1 垂直アレイ

垂直型の xA-Series アレイは、10AL (-D) または 10A (-D) から構成され、18A または 27A サブウーファーが 併用されます。この項では、ArrayCalc の使用のもとで計画された 10AL (-D) ラインアレイの吊り下げオプションについてご説明します。

3.1.1 Z5415 フライングバーアダプター xA

アレイは、Z5414 フライングバー xA を Z5415 フライングバーアダプター xA と組み合わせて吊り下げられます。1 点または 2 点吊りが可能です。

フライングバーアダプターの 上端には、以下に対応する 12 個の 12.5 mm [0.5 "] の穴が施されています。

- 1 t シャックル（d&b E6507 など）
- d&b Z5147 ロータクランプ
⇒ チューブ 直径が 50 mm (2") 以下のオーバーヘッドバーやトラスへの取り付けが可能な 1 点吊り。

アダプターは、フライングバーを 180°回転させるだけで、2 つの方向（後方 [R] または前方 [F]）に位置調整できます。

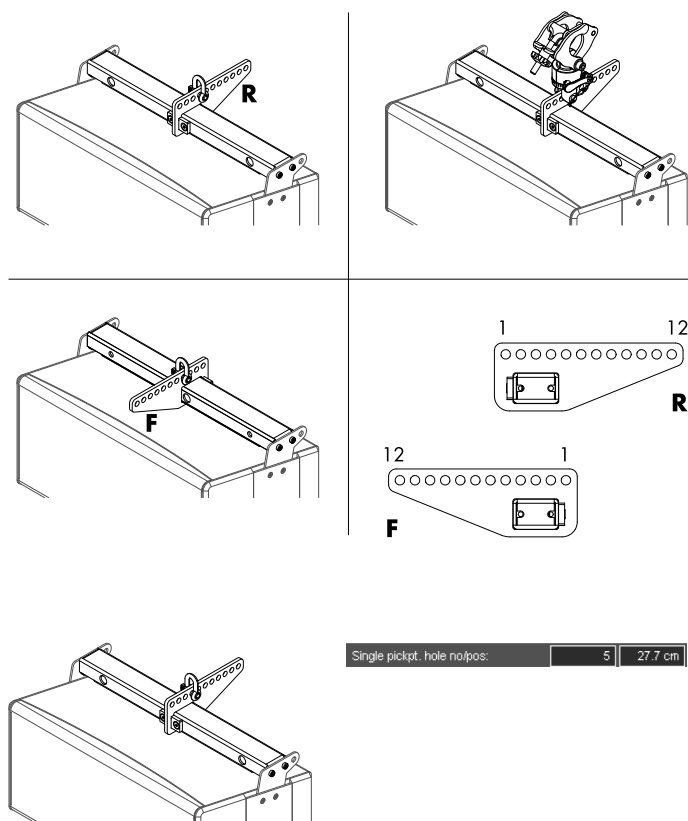
1 点または 2 点吊りのための穴の位置は、ArrayCalc を使用して計算します。

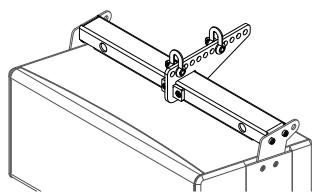
メモ: 計算された穴の位置は、2 つのフライングバーアダプターがフライングバーに取り付けられている場合にも適用されます。

1 点吊り使用時

1 点吊り使用時は、選択した穴の位置によってアレイ全体の総体的な垂直エイミングが決まります。

ArrayCalc では、アダプターの方法はアレイの重心に応じて変化します。両方の方向が可能な場合は、後方方向 [R] が選択されます。穴がカウントされる方向は相応して変わります。





	Rearpick	Frontpick
Pickpt. hole	8	2
Load	65 kg	71 kg

2点吊り使用時

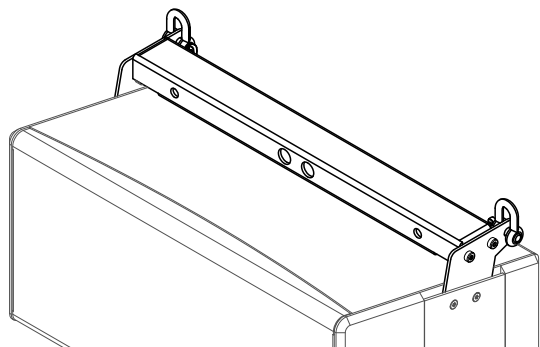
2点吊り使用時のアレイ全体の総体的な垂直エイミングは、アレイが完全にセットアップされ、使用位置まで上げられた後に、ホイストモーターのバランスで決定します

3.1.2 追加の吊り下げオプション

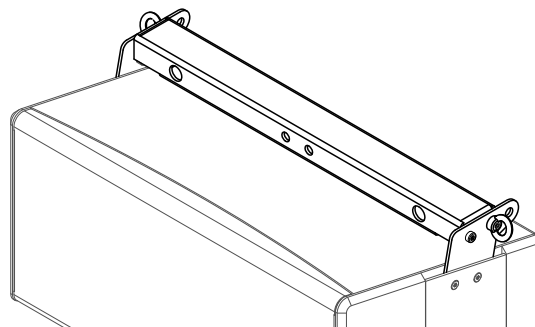
フライングバー xA とフライングバーアダプター xA を組み合わせる標準的な吊り下げオプションに加えて、以下のオプションのいずれかを用いて垂直アレイを吊り下げることができます。

メモ: これらのオプションでは、アレイ全体の総体的な垂直エイミングを設定するために、フルバックアンカー装置として機能する2番目のピックポイントが常に必要となります。2番目のピックポイントは、アレイの下部で隣接するキャビネットの間またはアレイ全体の端に設けられます。以下を参照してください。

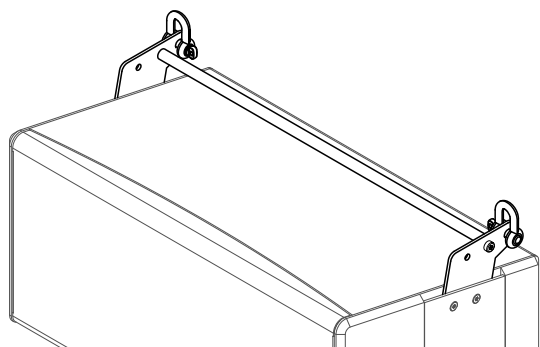
オプション 1: Z5414 フライングバー xA と 1t シャックル (d&b E6507 など) 2 個を用いてアレイを吊り下げる。



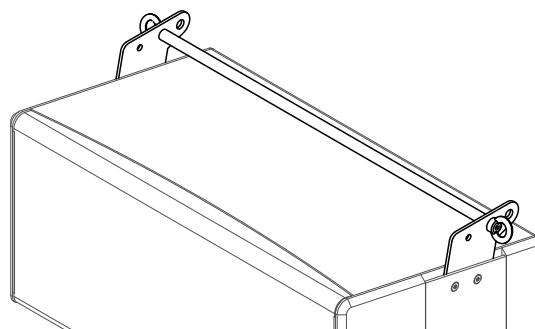
オプション 2: Z5419 ロードバー xA と Z5420 ロードアイボルト 2 個を用いてアレイを吊り下げる。



オプション 3: Z5419 ロードバー xA と 1t シャックル (d&b E6507 など) 2 個を用いてアレイを吊り下げる。



オプション 4: Z5419 ロードバー xA と Z5420 ロードアイボルト 2 個を用いてアレイを吊り下げる。



4 xA-Series アレイと組み立て

4.1 xA-Series アレイ構成

xA-Series アレイは以下の方法で組み立てることができます。

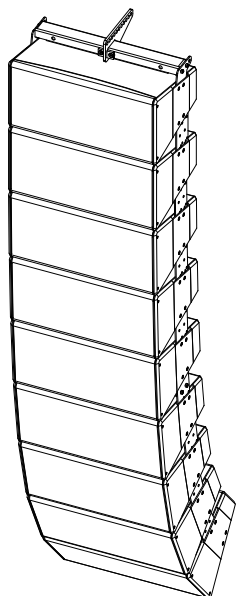


図 10: 10AL ラインアレイ 9 段

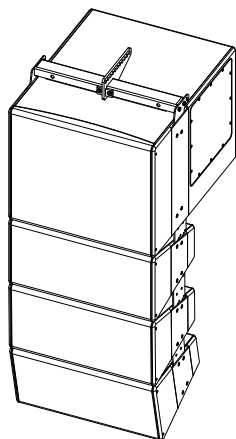


図 11: xA-Series 混合アレイ、タイプ 1

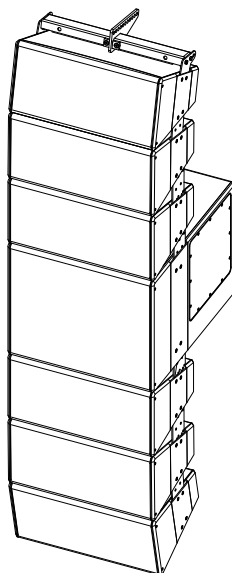


図 12: xA-Series 混合アレイ、タイプ 2

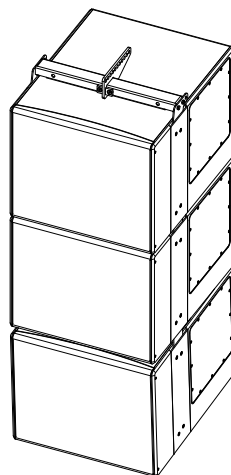


図 13: xA-SUB コラム

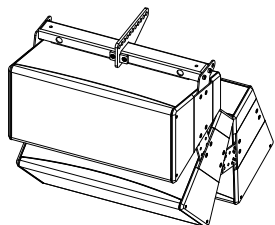


図 14: 10A アレイ 3 段

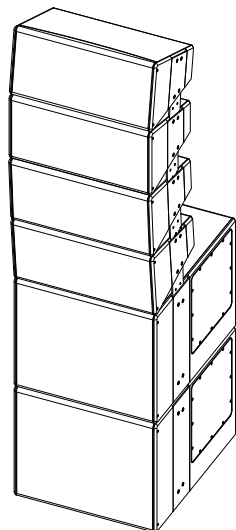


図 15: xA-Series グランドスタック

4.2 組み立ての準備

xA-Series アレイは主に地上で水平に組み立てられます。組み立ては 1 人で行うことが可能ですが、組み立て中にアレイを 180 度回転させなくてはならないので、アレイのサイズに応じて、もう 1 人が作業をサポートすることが求められます。

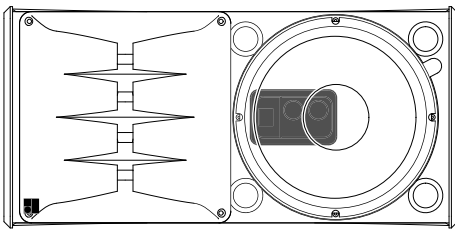
4.2.1 必要工具

- トルクスビット TX30 のドライバー。
- トルクスビット TX45 のトルクスsocketレンチ（トルクレンチ）。
- 13 mm 六角socketレンチ。

4.2.2 組み立てエリア

地上で組み立てを行う際には、以下を確認してください。

- 表面が平らできれいな状態である。
- アレイの全体寸法に十分なスペースがある。
- 組み立て中にキャビネットに擦り傷やその他の損傷が生じるのを防ぐために、組み立て用の追加の保護下敷きを用意する。



4.2.3 HF セクションの配向

アレイの組み立てを開始する前に、TOP キャビネットの HF セクションの配向を定義する必要があります。

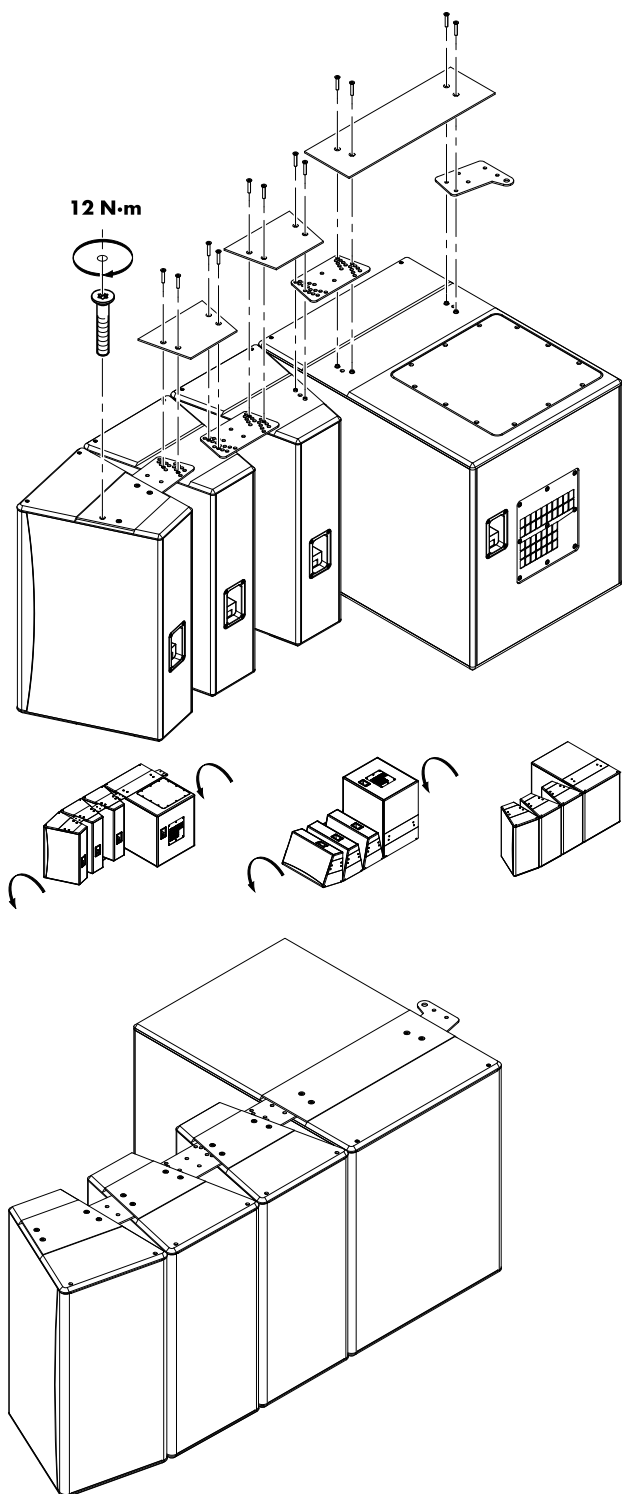
xA-Series TOP キャビネットは二軸設計です。デフォルトの配向では、HF ウェーブガイドは、観客側から見て左側に配置されています。ステレオシステムを対称的にセットアップするために、キャビネットの方向を逆にすることができます。

背面にあるキャビネットのコンネクタプレートは、左の図に示すように、HF セクションの配向を表すことができます。

4.3 垂直アレイ

4.3.1 地上での水平組み立て

この項では、混合 10AL ラインアレイの組み立てについてご説明します。同じ手順が 10A アレイの組み立てにも当てはまります。SUB コラムは、最も理想的には、垂直に組み立てられます。

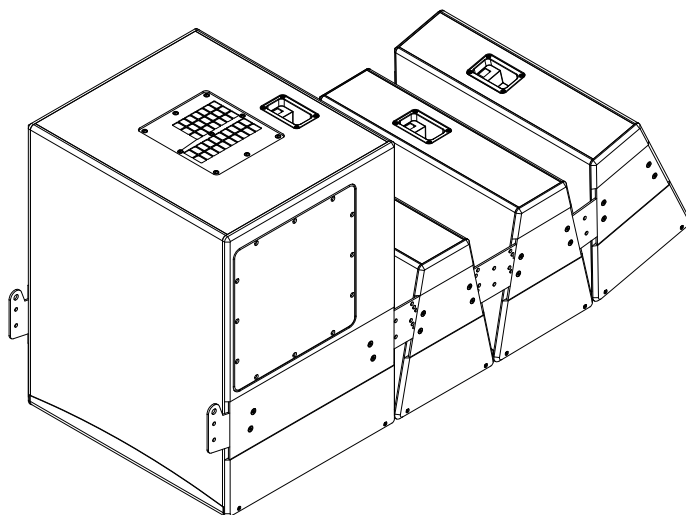


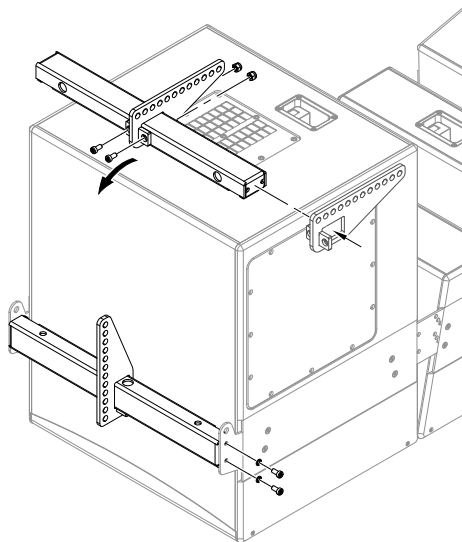
4.3.1.1 組み立て手順

キャビネットを接合する

この手順は、キャビネットの両側で行います。

1. キャビネットを、サイドパネルが正しい順序で互いに接し、HF セクションの配向が正しくなるように配置します。
2. カバーパネルを取り外します。
3. それぞれのコネクタプレートを取り付けて、希望のスプレイ角度を設定します。
4. カバーパネルを再び取り付け、12 N·m のトルクでネジを締めます。
5. 作業を再検査します。
6. よく注意してアレイを 180°回転させます。
⇒ アレイのサイズ（長さ）に応じて、もう 1 人が作業をサポートします。
7. 同じ方法で続行して組み立てを完了します。
8. よく注意してアレイをキャビネットの 前面に回します。
9. 作業を再検査します。
 - スプレイアングルを検査。
 - すべてのネジが正しく締められていることを確認。
 ↳ これで、アレイに希望の吊り下げ装置を取り付ける準備ができました。





吊り下げ装置の取り付け

選択した吊り下げオプションに応じて、それに対応する吊り下げ装置を取り付けます。

注意!

⇒ 15 ページの 3 章 "吊り下げのオプション".... を参照ください。に記載されているそれぞれの吊り下げオプションに適用されるすべての安全指示に従ってください。

アレイを使用位置まで吊り上げる前に、すべての作業を再検査してください。特に、すべてのネジが適切に締められていることを確認してください。

アレイを吊り上げる

機構の調節、システムチェック、安全に関するチェックが完了すると、アレイを使用位置まで吊り上げることができます。

システムの総重量とアレイの総体的なサイズ（長さ）に応じて、吊り上げ作業中に適切な予防的措置を講じる必要があります。これに際しては、⇒ 21 ページの 5 章 "アレイを吊り上げる".... を参照ください。

4.4 グランドスタック



警告!

人体に傷害を与えたり、機器の損傷の恐れがあります！

グランドスタックを組み立てる際は、動いたり転倒しないように常に固定してください。

xA-Series サブウーハー 18A と 27A-SUB をスタッキングした場合は、両側で Z5418 コネクタープレート xA-SUB を使ってキャビネットを相互に接続してください。

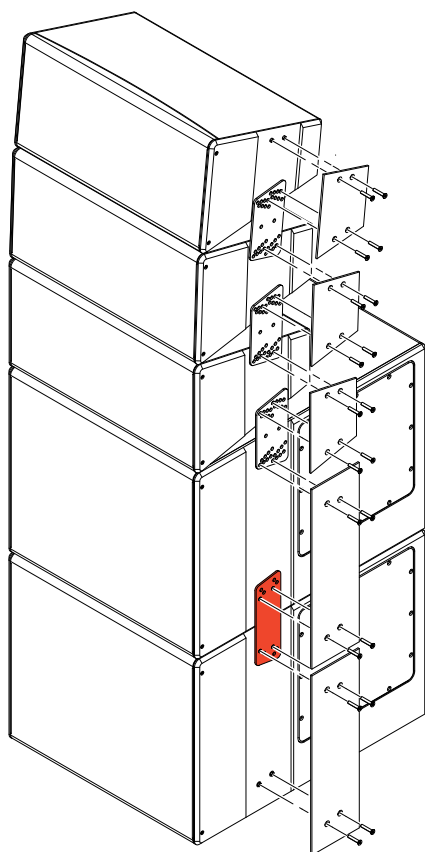
また、グランドスタックが動かないよう、全体を適切な防滑マット上に設置することを推奨します。

取り付け

混合グランドスタックを垂直に組み立てる場合、組み立てエリア、HF セクションの配向、および安全上の注意に関して、⇒ 18 ページの 4.2 章 "組み立ての準備".... を参照ください。で説明されているのと同様の要件が適用されます。

混合グランドスタックの組み立ては、⇒ 18 ページの 4.3.1 章 "地上での水平組み立て".... を参照ください。に記載されているのと同じ方法で行われます。

SUB スタックは垂直方向に組み立てることができます。



アレイ構成と現場の条件は多様なので、一般的に適用可能な吊り上げ手順はありません。アレイの構成、システムの重量、現場の条件に応じて、アレイの吊り上げの担当者は現場の状況を確認し、適用可能な吊り上げ手順をそれぞれ決定する必要があります。

さらに、以下の安全ガイドラインを順守してください。

5.1 安全ガイドライン



注意!
予測できない動的外力と横振れ。

アレイを吊り上げる際は、アレイの横揺れなど、予測のつかない突発的な事故に十分注意してください。これらは作業員の怪我、あるいはリギング金具やラウドスピーカーキャビネットの損傷に繋がる恐れがあります。

アレイの真下、あるいは付近に、セットアップに関わる作業員以外が近づかないように注意してください。

システムの総重量が 140 kg (309 lb) 以下の xA-Series アレイは、水平の組み立て配置（アレイが地上で水平に組み立てられている）から直接上げることができます。

- アレイの吊り上げを開始する前に、キャビネットに傷やその他の損傷が生じることがないように確認してください。
- アレイのピックポイントがリギングポイントおよび吊り上げ装置と一致していることを確認します。
- 水平配置から垂直配置に変えるときは、次の点に注意してください（アレイのサイズ〔長さ〕と重量によって異なります）。
 - アレイの両側に 1 人ずつ、2 人でサポートして、予測できない横方向の牽引力がアレイにかからないようにします。
 - 必要に応じて指示を与えられるように、アレイの吊り上げに関係する全員が近くにいることが推奨されます。
- アレイが地面から離れるときは、アレイが予想しない動きや横揺れを起こさないように、十分なサポートがあることを確認してください。
- アレイをさらに吊り上げる際には、ゆっくりと均等に上昇させ、左右に揺れたり動いたりしないように注意してください。



この宣言は、以下の製品に適用されます。

d&b xA-Series ラウドスピーカーキャビネット

- Z1555/56、10A/10A-D
- Z1557/58、10AL/10AL-D
- Z1571、18A-SUB
- Z1581、27A-SUB

d&b xA-Series リギングコンポーネント

- Z5413 フライングバーコネクタープレート xA
- Z5414 フライングバー xA
- Z5415 フライングバーアダプター xA
- Z5416 コネクタープレート 10A
- Z5417 コネクタープレート 10AL
- Z5418 コネクタープレート xA-SUB
- Z5419 ロードバー xA
- Z5420 ロードアイボルト
- Z5421 コネクタプレート xA、ネガティブスブレイ

製造者 d&b audiotechnik GmbH & Co. KG.

製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が全て関係条項の EC 指令条項に準拠していることを宣言いたします。

この宣言に関わる詳細な情報は、d&b に注文頂くかウェブサイト www.dbaudio.com からダウンロードすることもできます。

6.2 廃棄

リギング金具を廃棄する時は、国や地域の法令に従って廃棄してください。

損傷や異常のあるリギング金具は、確実に再使用出来ないようにしてから廃棄してください。

